

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '健康づくり推進協議会運営事業' and '健康づくりの推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the health promotion committee and various activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者の活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for '健康づくり推進協議会委員の人数' and '市民の人口'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 29年度 (実績), 30年度 (実績), and 01年度 (計画). Includes categories like 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, and 事業費計 (A).

Table showing internal expenses (事業費の内訳) for 30年度 (実績) and 01年度 (予算). Includes categories like 01 報酬 and 11 需用費.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 01年度, 02年度, and 03年度. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists main activities like '市長マニフェスト' and '未来PJ事業'.

事務事業名	健康づくり推進協議会運営事業	事務事業No.	10201000316	所属課	健康推進課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和53年から、行政と市民その他関係団体が連携を図りながら、市民の保健に関する取り組みについて協議し、市民の健康の保持増進に寄与することを目的に協議会が設置され実施され年1回会議が開催されている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 乳幼児だけにかかわらず、高齢者のフレイル対策やがん検診向上等、健康寿命の延伸に係る事業を展開して欲しいとの要望がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 結びついている 「自分の健康は自分で守る」という意識のもとで健康づくり活動に積極的に取り組む。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である 市民主体の健康づくりを展開するため、自らの考えを実践するための知識をつけなければならない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がない 行政と市民・関係団体が協同で市民の健康健康づくりの取り組みについて協議する場でありそのため協議会における成果向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 行政と市民・関係団体が協同で市民の健康健康づくりの取り組みについて協議する場であり、廃止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 余地がない 市民の健康づくりのための協議会であり、類似団体や事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がない 関係行政機関、関係団体の代表で組織しており、削減はできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である 健康づくり推進協議会委員は市医師会長をはじめ健康づくりに関する市民の代表を依頼しているため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成30年度は、第2次きり健康プラン策定委員会を兼ねるため、各分野から委員を選出し2回開催した。 例年の協議事項に加え、プランの概要や市民アンケート結果について方向をしたため、事前資料を送付しているが協議内容が多くなった。
(3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 継続 □ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 □ 現状維持	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果向上 維持 低下
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 協議事項の内容の精査等運営方法の検討を要す。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑨ コスト削減優先度評価結果 -

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄
--	---